

ACP ワーキングチーム

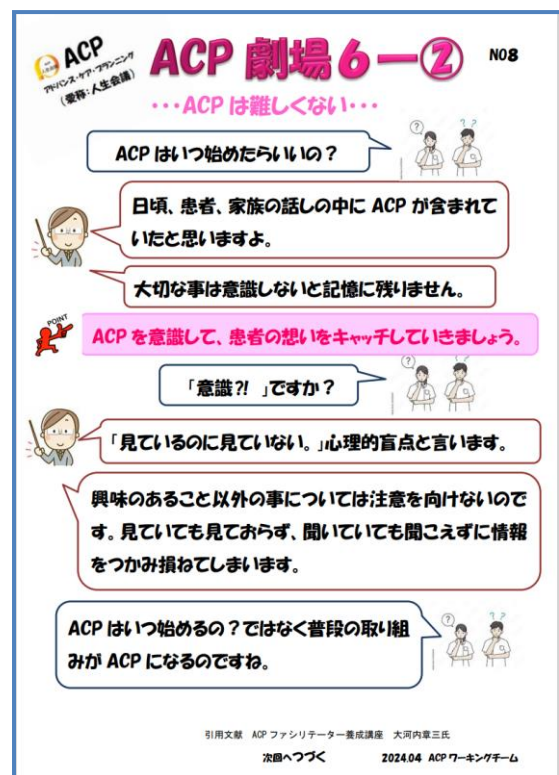
「ACP」って言葉をご存じですか？ACPとは、advance care planning（アドバンス・ケア・プランニング）の略です。愛称を「人生会議」といいます。人生の最終段階の医療・ケアについて、自分自身の価値観を認識し、今後の人生についてどう生きたいかを、本人が主体となって、その家族や近い人、医療・福祉・ケアの担い手と共に繰り返し話し合うプロセスのことです。いよいよお別れ、という時期がせまると御自分の受けたい（受けたくない）医療ケアを御自身で話せない方が多いという現実から国をあげて推進している考え方です。

当院では2023年度から、Ⅰ、ACPの院内職員への普及・啓発 Ⅱ、地域の医療介護従事者の皆さまとのACPの考え方の共有を目的として、活動を開始しました。

Ⅰの一環としてポスター掲示を行っています。例えば、ACP劇場6-②（右記）は「ACPは知っているけど、いつどのように話しをすればいいのか分からない」との声に向けたもので、日頃の会話の中から患者さんの価値観をつかもうと意識することを呼びかけています。会話の内容を書き留め、多職種で共有し、その先の医療・ケアプランに活かしてしていく作業がACPです。

Ⅱとしては、これまでに3回、医師、看護師、ケアマネなど多職種の方に集まっていた研修会を開催しました。例えば、第2回では「認知症をもつ人の意思決定支援」をテーマに5グループに分かれ、みんなでざっくばらんに話し合いました。普段あまり接する機会のない方々の意見が聞け、顔の見える関係ができるのも研修会の醍醐味のひとつだなあと実感いたしました。

今後も、微力ながらACP推進に向けて活動していきたいと思っております。皆さま方のご支援・ご協力をいただけると幸いです。



ACP 劇場6-② N08
…ACPは難しくない…

ACPはいつ始めたらいいの？

日頃、患者、家族の話の中にACPが含まれていたと思いますよ。

大切な事は意識しないと記憶に残りません。

ACPを意識して、患者の想いをキャッチしていきましょう。

「意識?!」ですか？

「見ているのに見ていない。」心理的盲点と言います。

興味のあること以外の事については注意を向けません。見ているのに見ておらず、聞いていても聞こえずに情報をつかみ損ねてしまいます。

ACPはいつ始めるの？ではなく普段の取り組みがACPになるのですね。

引用文献 ACP ファシリテーター養成講座 大河内章三氏
次園へつづく 2024.04 ACP ワーキングチーム



チームメンバーは医師2名、看護師1名です。